

第3章 かわまちづくり計画

3-1. かわまちづくりの目的

伊豆の国市を流れる狩野川の水辺空間は、健康志向の高まりからウォーキングやランニング、サイクリングなど多様な形態で利用され、利用者も増加傾向にあり、特に東京2020オリンピック・パラリンピックの自転車競技がベロドームで開催されることから、サイクリングを目的に来訪する方も多く見られます。また、狩野川の神島地区に隣接する「道の駅伊豆のへそ」は、伊豆の国市名産のいちごスイーツや静岡・伊豆の特産野菜の販売、世界的自転車メーカーの展示・試乗が楽しめる複合施設として高い集客力を誇ります。

このような背景のもと、自然環境や地域住民の憩いの空間を保全することなど、「まちづくり」と「かわづくり」が一体となった地域の活性化及び新たな水辺空間の創出が求められています。

伊豆の国市の「かわまちづくり計画」は、狩野川を軸とした地域の魅力・賑わいの再生に向けた水辺空間の整備、狩野川原風景に接し、サイクルツーリズム、地域祭事、遊び体験ができる機能の整備を行い、健康増進、地域振興、子どもたちの豊かな成長に貢献することを目的とするものです。

伊豆の国市の主な資源及び神島地区・中島地区の位置

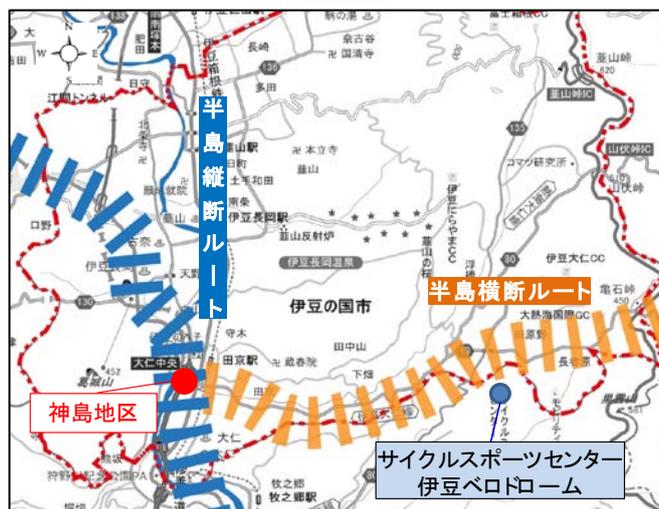


3-2. かわまちづくりの目標

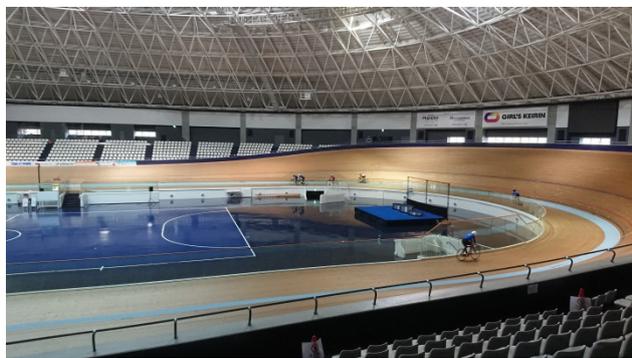
①伊豆の国市の強み(ポテンシャル)

まちづくりを進める上で、本市には、以下に示す強み(ポテンシャル)があります。

- ・ **貴重な歴史文化資源や自然環境資源** (ジオポイント) が存在します。
- ・ **伊豆半島サイクリングルート**の半島縦断ルートと半島横断ルートの**結節点**です。



- ・ 隣接する伊豆市において東京 2020 オリンピック・パラリンピック自転車競技大会が開催されます。
- ・ 「道の駅伊豆のへそ」は、リニューアルから1年間で**来客 120 万人を超える盛況**を見せています。



②伊豆の国市において解決しなければならない課題

伊豆の国市において、まちづくりを進める上で解決しなければならない課題は、以下があげられます。

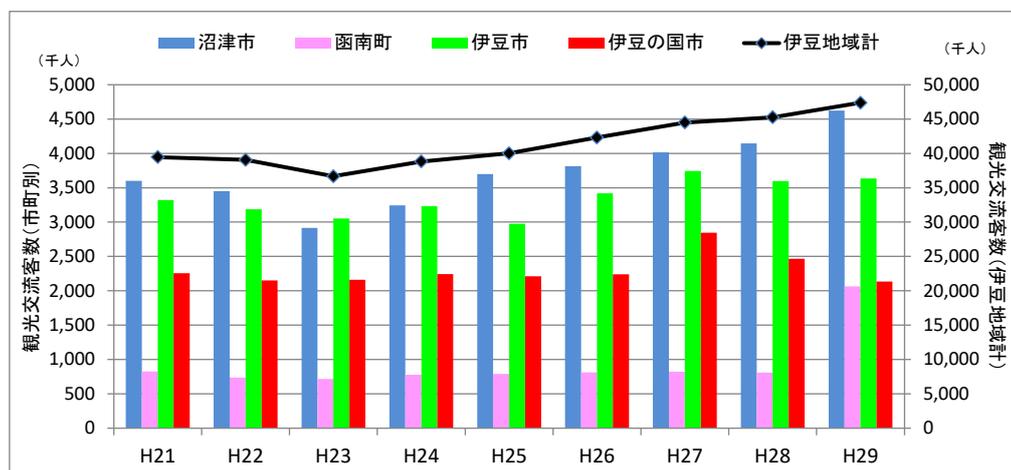
課題①: 地域と川との触れあいの場の創出

舟橋を往来する地域の人々で賑わいを見せていたかつての狩野川の姿と比べ、近年は地域の人々と川との関係の希薄化、特に子どもたちの川ばなれが進んでいます。

課題②: 観光交流人口の推移

貴重な歴史文化資源など観光に関するポテンシャルはありますが、伊豆地域の観光交流人口が増加傾向にある中、伊豆の国市は横ばいにあります。

伊豆地域の観光交流人口の推移



課題③: 滞在・周遊型観光への転換

狩野川堤防等でのサイクリング利用者（通過）や「葦山反射炉」「道の駅伊豆のへそ」等の目玉施設への入り込みはあるが、市内に長く留まる滞在・周遊型観光へと波及していません。

課題④: サイクルツーリズムの確立

本市では、滞在・周遊型観光のためのウォーキング・サイクリングコースの設定、「緑の回廊」整備、ジオポイントである「城山・葛城山周辺ハイキングコース」の整備などを計画していますが、市の単独事業のみでは計画の実現（ハード整備）が困難です。

③かわまちづくりによって実現できること

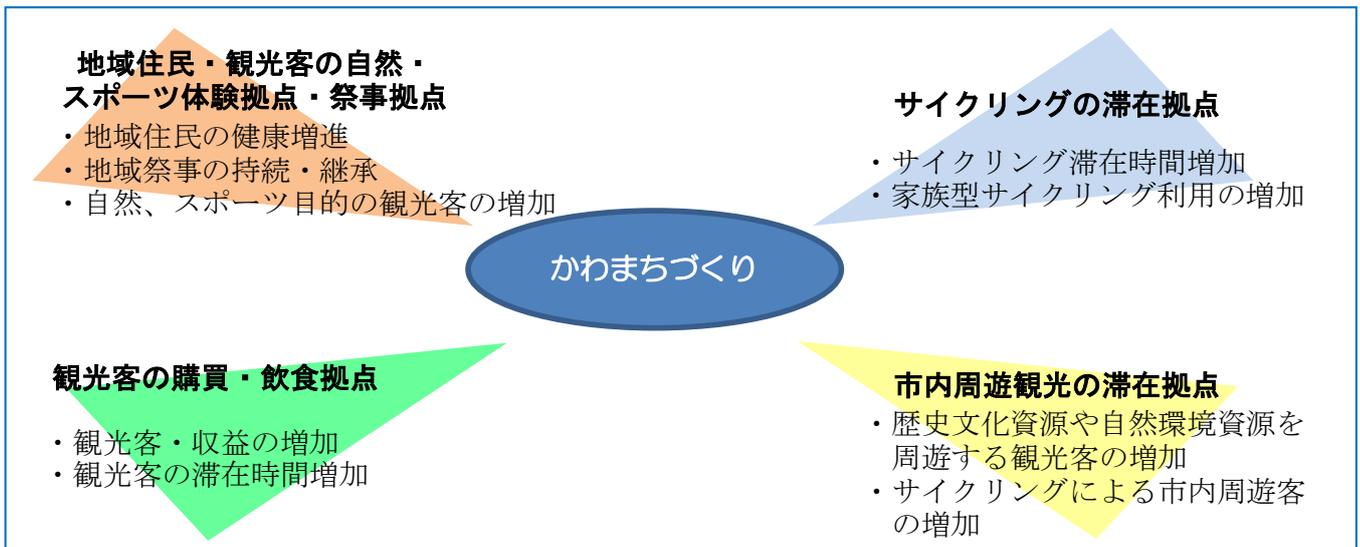
先に示した伊豆の国市のまちづくりにおける課題解決に繋がるよう、かわまちづくり支援制度の活用によって、以下に示すことを実現します。

- ・かわまちづくり支援制度が活用できれば、河川管理者による基盤整備＋市等による施設整備により、**広い公共空間を活用した地域住民・観光客の滞在拠点**を生み出します。
- ・狩野川堤防は、伊豆地域のサイクリングコースの主要動線であることから、かわまちづくりで狩野川に**サイクリング利用者の滞在拠点**づくりができれば、**通過型⇒滞在型、個人型⇒家族型への転換**、自転車による**市内観光への誘導・波及**を図ります。
- ・河川区域といった広い公共空間の活用は、民間企業・団体にとっても魅力的であり、**民間活力による観光振興**を図ります。

④かわまちづくりによって目指す姿(目標)

かわまちづくりによって目指すべく未来の姿(目標)は、以下のとおりに設定します。

かわまちづくりによって目指す姿



3-3. かわまちづくり基本方針

先に示した「かわまちづくりによって目指す姿（目標）」を実現するため、以下の4つの基本方針のもと「伊豆の国市かわまちづくり」に取り組みます。

基本方針①: 狩野川の原風景を再生する水辺空間の整備

アユ釣り発祥の発端であり、かつては舟橋（棧橋）による人々の往来で賑わいを見せていた狩野川（神島地区及び中島地区）の原風景を保全・再生する水辺空間の整備を行います。

基本方針②: 地域イベント、遊び体験ができる機能の整備

狩野川の原風景に接し、地域イベント、遊び体験ができる機能の整備を行うことで、健康増進、地域振興、子どもたちの豊かな成長に貢献します。

基本方針③: 人々が集まり、憩い、食を楽しめる機能の整備

狩野川の原風景、及び葛城山・城山・富士山を望む素晴らしい景観のなかで、人々が集まり、憩い、食を楽しめる機能の整備を行います。

基本方針④: サイクリング利用者の駐輪・休憩スペースや案内看板等の整備

狩野川へ来訪するサイクリング利用者の駐輪・休憩スペースや案内看板の整備、及び自転車オフロードコースやサイクリングイベントスペース等の整備を行い、来訪者の利便性向上やアクセス性向上を図ります。

3-4. かわまちづくりの内容(施策)

かわまちづくりの目標及び基本方針に基づき計画した「伊豆の国市かわまちづくり」の内容(施策)を以下に示します。

かわまちづくりで実施する施策

目標	基本方針	施策
地域住民等の自然・スポーツ体験拠点、祭事拠点	狩野川の本風景を保全・再生する水辺空間の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフト施策：集客イベントの開催・運営の仕組みづくり ・ハード整備：高水敷整正、階段、管理用通路
	地域イベント、遊び体験ができる機能の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフト施策：集客イベントの開催・運営の仕組みづくり ・ハード整備：高水敷整正、多目的広場（舗装）、張芝、ベンチ、洗い場
観光客の購買・飲食拠点	人々が集まり、憩い、食を楽しむ機能の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフト施策：集客イベントの開催・運営の仕組みづくり、出店・キャンプ経営などの仕組みづくり ・ハード整備：高水敷整正、多目的広場（舗装）、張芝、ベンチ、洗い場
サイクリングの滞在拠点	サイクリング利用者の駐輪・休憩スペースや案内看板等の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフト施策：サイクルイベント等の開催・運営の仕組みづくり、出店・キャンプ経営などの仕組みづくり
市内周遊観光の滞在拠点		<ul style="list-style-type: none"> ・ハード整備：坂路、案内看板、誘導看板、サイクルラック、ベンチ、地形を利用した自転車オフロードコース開削

①ソフト施策

【伊豆の国市】

- ・サイクルイベントやお祭り、水辺でのイベントなどの集客イベントの開催・運営の仕組みづくりを行います。

【民間事業者・団体】

- ・サイクルイベントなどの集客イベントの開催・運営、マルシェやカフェの出店など、社会実験等を通じて仕組みづくりを行います。

②ハード施策

【国土交通省】

- ・治水・防災にあわせた地域住民や観光客の利用・滞在に適した基盤の整備を行います。
 - 基盤の整備：高水敷整正、階段、管理用通路、坂路

【伊豆の国市】

- ・サイクリング利用者や観光客の利便施設の整備、周遊観光のための整備を行います。
 - 施設整備：多目的広場（舗装）、張芝、ベンチ、渡り石、サイクルラック、洗い場
 - 案内看板、誘導看板

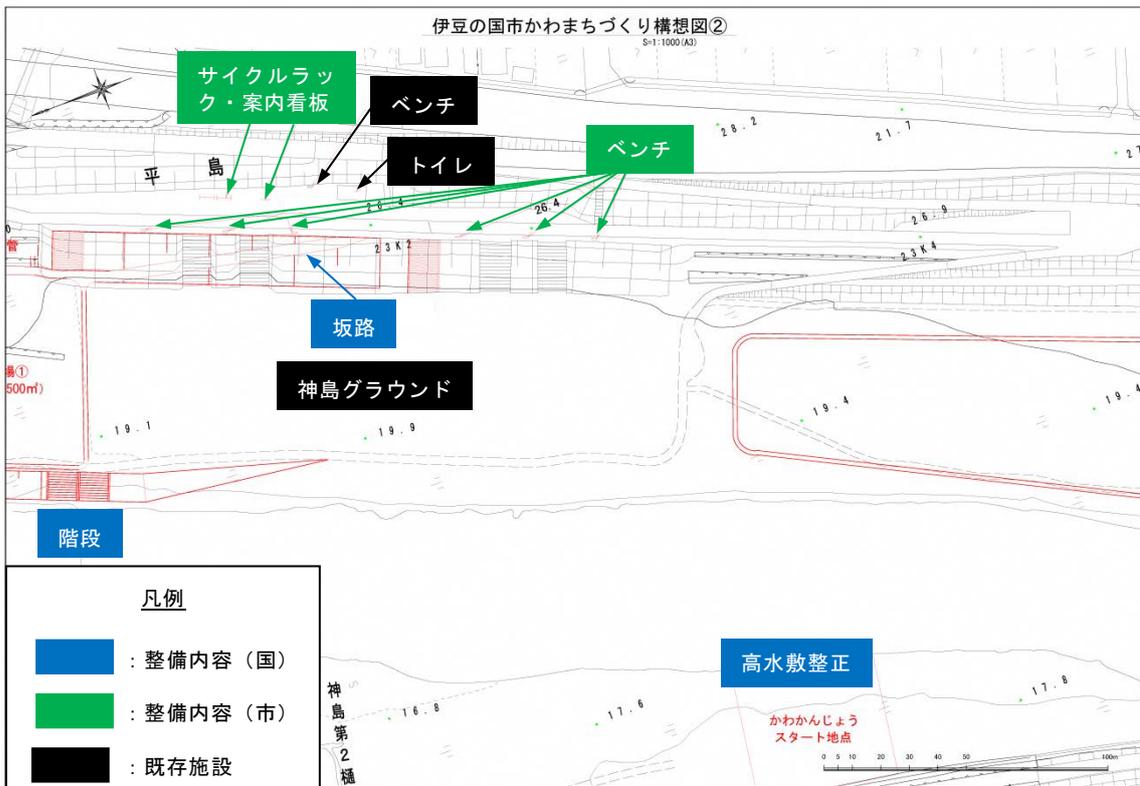
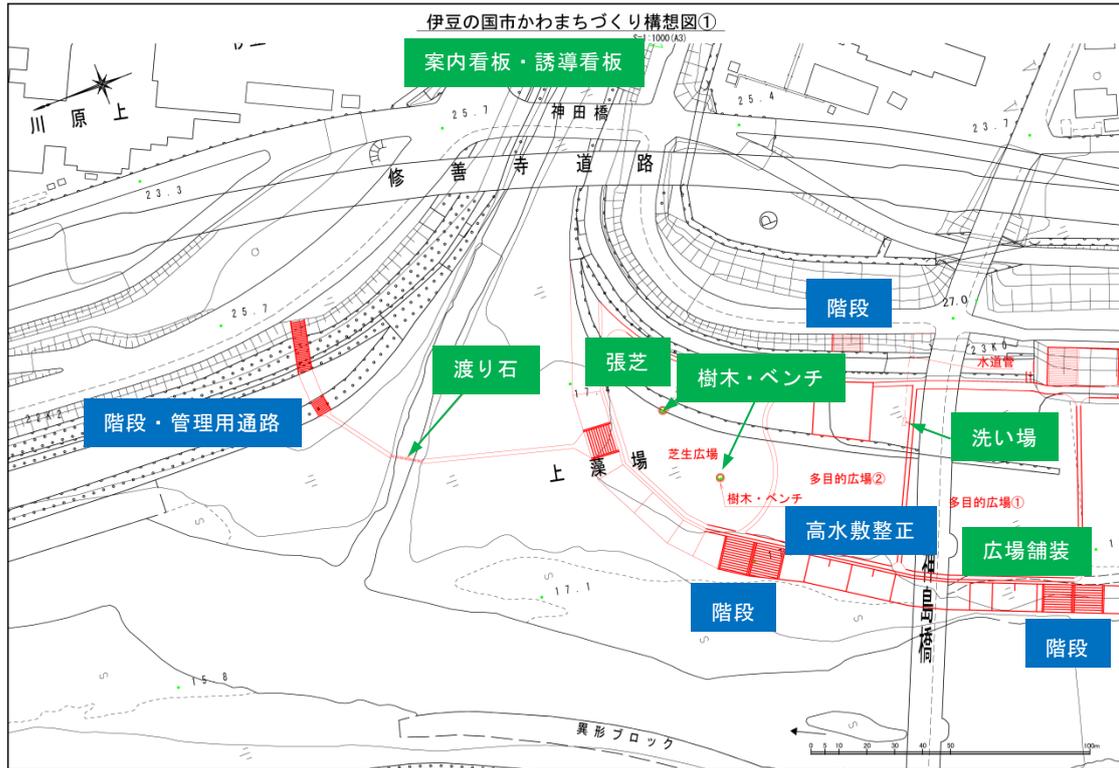
【民間事業者】

- ・河川敷内への自転車オフロードコースの整備を行います。
 - 地形を利用した自転車オフロードコース開削

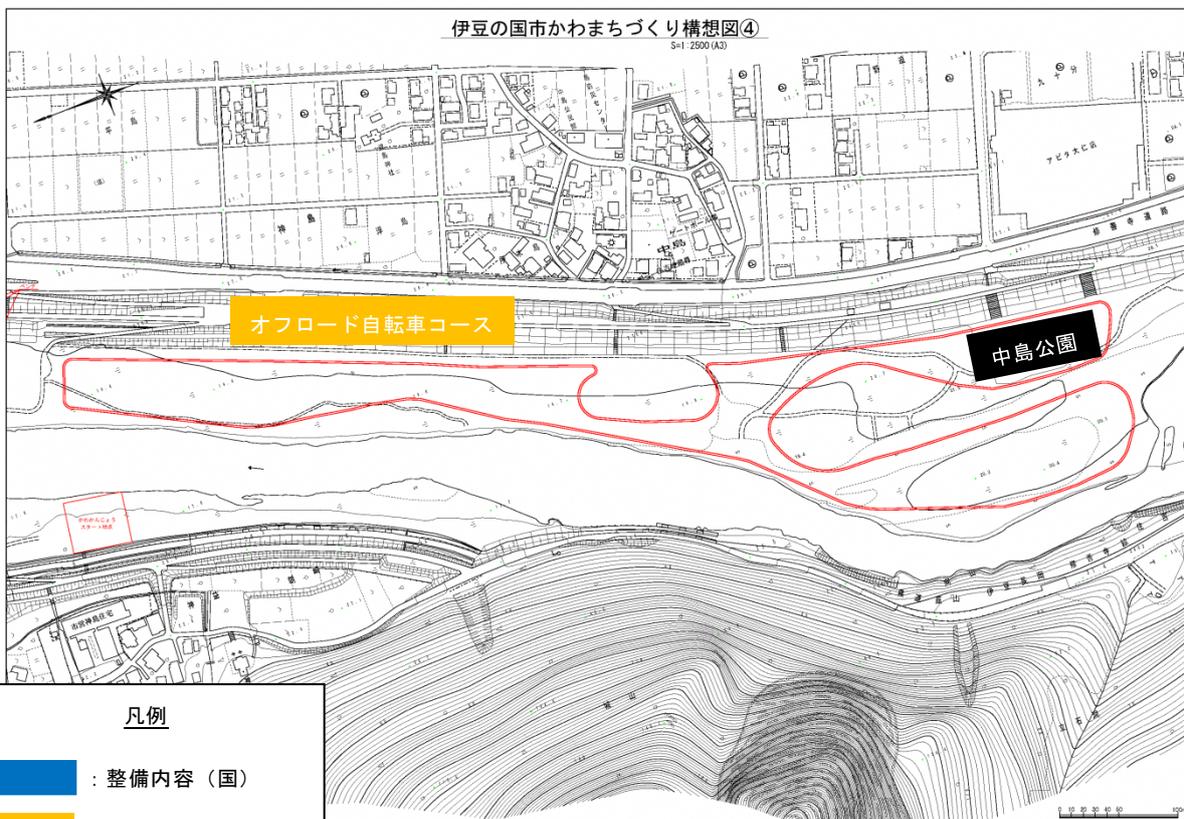
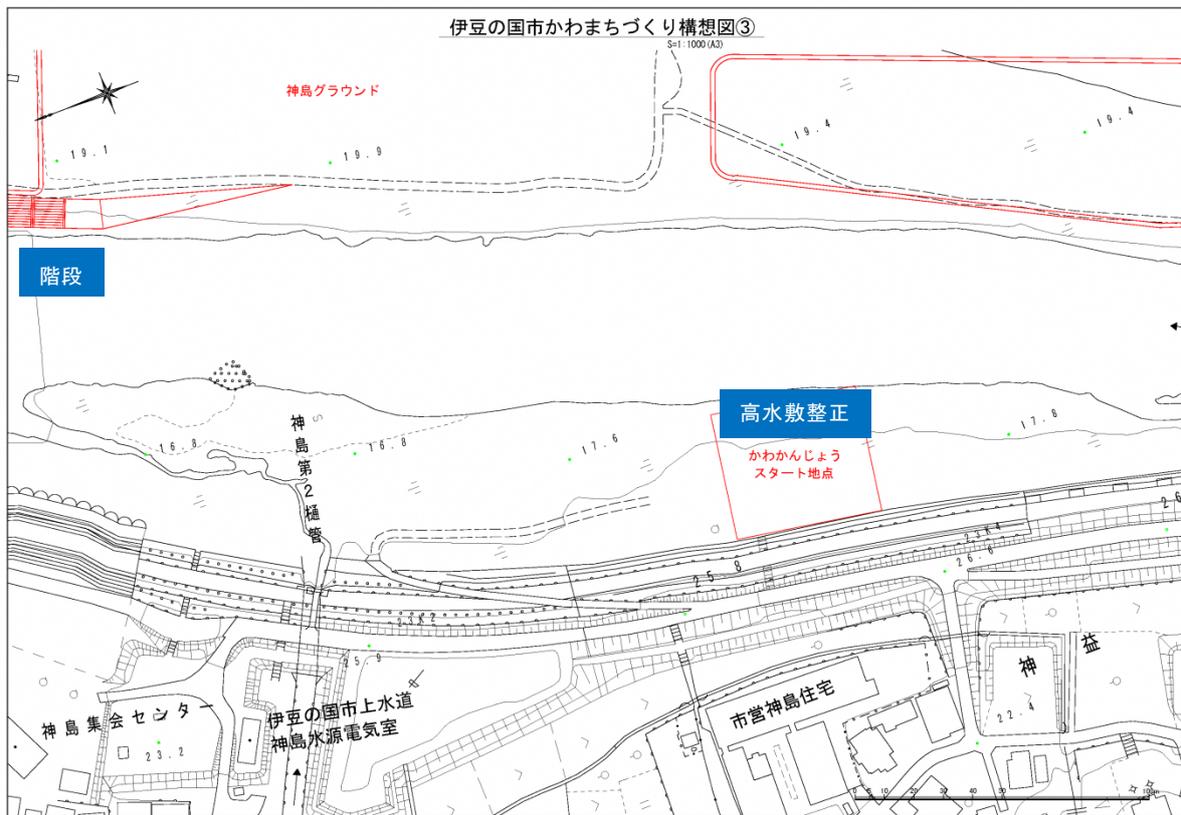
伊豆の国市かわまちづくり整備構想 全体図



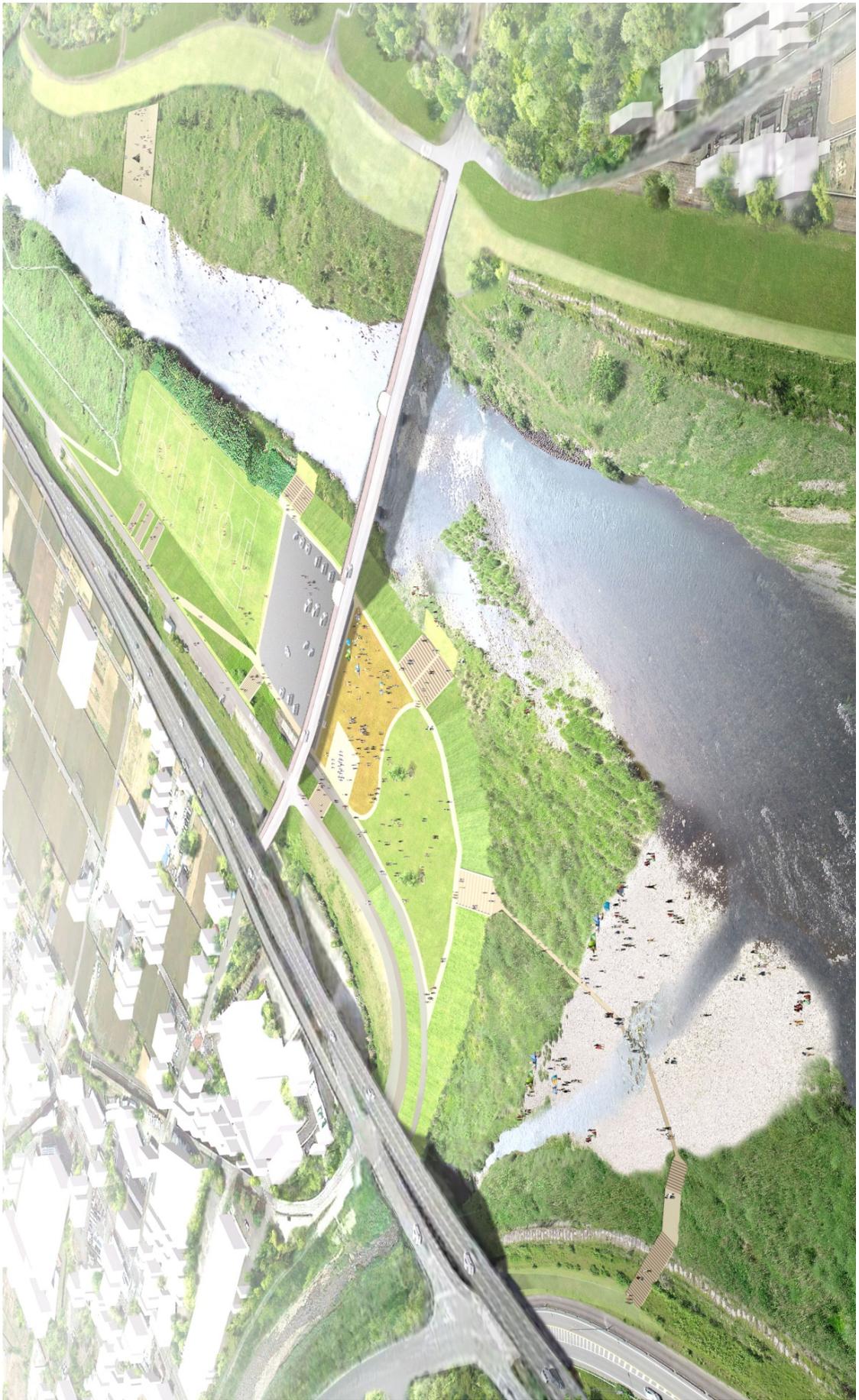
伊豆の国市かわまちづくり整備構想(1/2)



伊豆の国市かわまちづくり整備構想(2/2)



伊豆の国市かわまちづくり整備イメージ



3-5. 利活用・維持管理

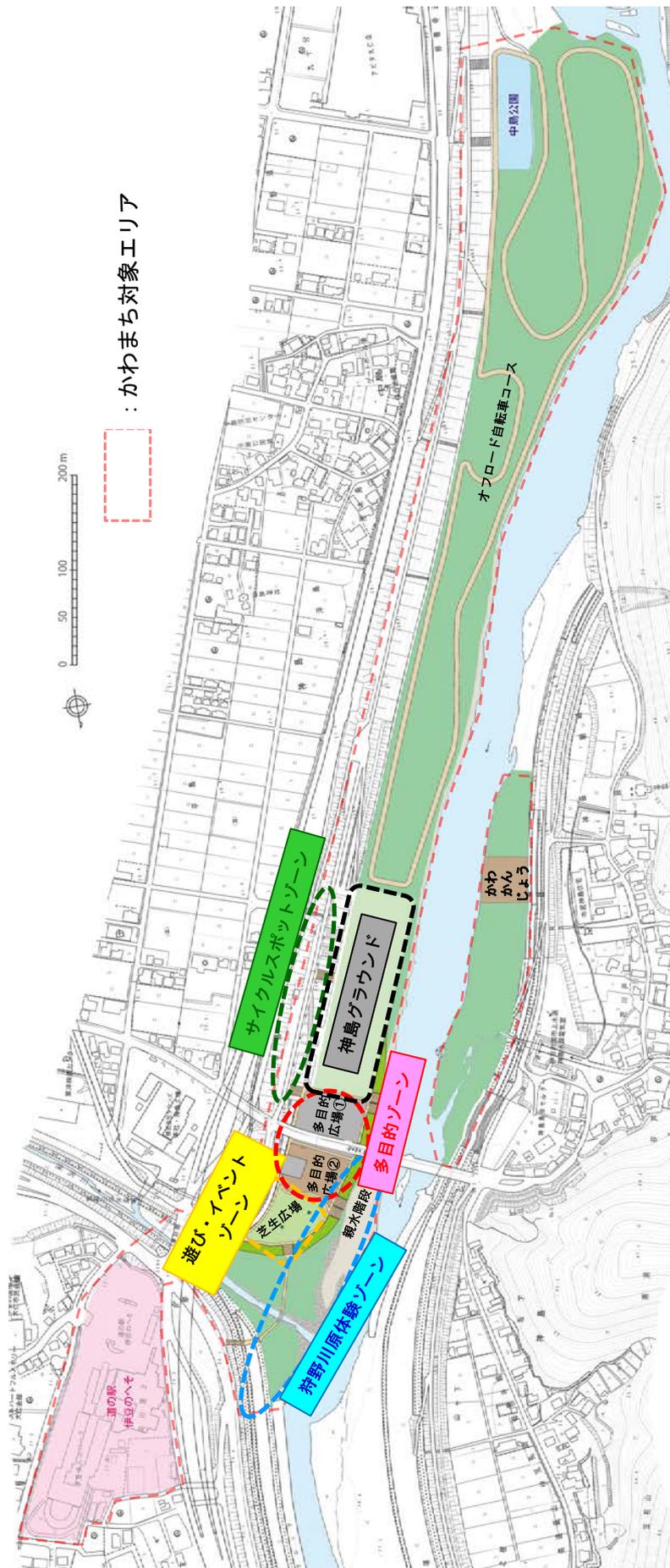
施設の占用及び維持管理については、伊豆の国市が主体的に行います。出水等の災害に対する施設被害に関しては、国土交通省が支援し、伊豆の国市が主体的に行います。イベント時の清掃等については、伊豆の国市、地元市民や各種団体等により実施するものとして検討していきます。

このように河川維持管理及び利活用は行政と地域住民や NPO、観光協会等の関係団体が一体となって取り組むものとし、そのルールづくりや調整は、伊豆の国市狩野川利活用調整協議会（仮称）で協議を進めていきます。

利活用・維持管理計画(案)

ゾーン	整備		利活用		維持管理	
	整備メニュー	整備主体	利用主体	内容	管理主体	内容
多目的ゾーン 遊び・イベントゾーン 狩野川 原体験ゾーン	多目的広場①： 駐車場	基盤：国 舗装：市	神島区、狩野川 漁業協同組合、 大仁少年サッカ ークラブ、 観光協会、民間	駐車場	市・大仁少年 サッカークラ ブ（サッカー 利用時の管 理）	清掃、 草刈等
	多目的広場②： BBQ 等 芝生広場					
	階段 （堤防：3箇所）	基盤：国	神島区、狩野川 漁業協同組合、 観光協会、民間	軽トラ市、BBQ、 キャンプ、かわ かんじょう（ゴ ール地点）・ど んど焼き等の 地域祭事など	市・民間	清掃、 草刈等
	ステージ （既設取水口跡）	（現状活用）				
	遊歩道・渡石 （浅場： 渡石部堰き止め）	基盤：国 上物：市				
	親水階段 （低水：3箇所）	基盤：国	神島区、狩野川 漁業協同組合、 観光協会	釣り、環境学 習、水遊び、魚 のつかみどり など	市・民間	清掃、 草刈等
サイク ルスポ ットゾ ーン 神島グ ラウン ド	サイクルラック・ ベンチ	（基盤整備 無） 上物：市、民 間	（一般サイクリ ストの利用）	サイクリング の休憩拠点	市・民間	清掃等
	案内看板	（基盤整備 無） 上物：市	（一般来訪者全 般の利用）	市内等観光案 内	市	清掃等
	坂路	基盤：国	神島区、狩野川 漁業協同組合、 大仁少年サッカ ークラブ、 観光協会、民間	車両の乗り入 れ	市	清掃、 草刈等
	階段 （堤防：1箇所）	基盤：国		サッカーの見 学(観戦)など	市・大仁少年 サッカークラ ブ	
その他 ゾーン	かわかんじょう スタート地点	基盤：国	神島区	かわかんじょう （スタート地 点）等の地域祭 事	神島区	清掃、 草刈等
	自転車オフロード コース （中島公園～神 島グラウンド）	（基盤整備 無） 上物：民間	民間	サイクルイベ ントなど	民間	清掃、 草刈等

伊豆の国市かわまちづくりゾーン区分



3-6. 利活用の方向性(年間を通じた利活用プログラム(案))

「伊豆の国市かわまちづくり」の利活用は、伊豆の国市及び地域住民、団体、及び民間企業が参画して継続的な利活用を図ります。

年間を通じた利活用プログラム(案)

時期	利活用内容	実施主体
春	稚魚等の放流イベント	狩野川漁業協同組合など
	スポーツ大会 (5月初旬)	神島区などの地域活動団体
	スケートボードイベント	静岡県スケートボード協会など
	クリーン大作戦 (河川清掃活動等)	国土交通省、伊豆の国市、狩野川漁業協同組合
	ウォーキングイベント (城山桜)	伊豆の国市、民間事業者など
夏	かわかんじょう (8月1日)	神島区
	観光ヤナのかみどりイベント (7~8月)	狩野川漁業協同組合など
	鮎釣り大会・鮎釣り体験教室	狩野川漁業協同組合など
	水遊び、環境学習、水生生物観察会などの自然体験プログラム	青少年活動推進委員会、地域活動団体など
	B B Q大会 (令和2年夏開催予定)	伊豆の国市おんぱく実行委員会
秋	球技大会 (10月初旬)	神島区などの地域活動団体
	スケートボードイベント	静岡県スケートボード協会など
	ライド&ライド伊豆狩野川 (9月下旬)	ライド&ライド狩野川実行委員会
	釣り教室	狩野川漁業協同組合など
	MTBレースイベント	株式会社ミヤタサイクル
	遠足コース、絵画教室、ジオサイト学習など	学校 (NPOなどの地域活動団体が指導)
冬	どんど焼きなどの地域イベント	神島区
	伊豆の国市駅伝、伊豆の国市元旦マラソン	伊豆の国市、伊豆の国市体育協会
	シクロクロスレース	株式会社ミヤタサイクル
通年	散策、ジョギング、ウォーキング、サイクリング	—
	少年サッカーの練習	大仁少年サッカークラブなど
	自転車講習会 (MTB、シクロクロス)、レンタル自転車の試乗	株式会社ミヤタサイクル
	オフロード耐久レース	株式会社ミヤタサイクル
	オープンカフェ、マルシェ、軽トラ市、フリーマーケット、朝市、キャンプ	伊豆の国市商工会、伊豆の国市観光課、民間事業者など

3-7. 整備後の利活用、維持管理に向けた仕組みづくり

「伊豆の国市かわまちづくり協議会」において、検討した利活用の方向性、維持管理が、今後、継続的かつ適切に行われて行くよう「伊豆の国市狩野川利活用調整協議会（仮称）」を設立し、民間活用も含めた具体的な水辺空間の利用形態について協議し、「伊豆の国市かわまちづくり」の利活用、維持管理について官民一体となって取り組める体制を構築していきます。

伊豆の国市狩野川利活用調整協議会（仮称）の概要

項目	内容
協議会の役割	・水辺利活用や維持管理のルール、年間プログラム作成や調整、周知を行う。
メンバー（案）	<ul style="list-style-type: none"> ・地元住民代表（神島区） ・教育関係（学校） ・伊豆の国市商工会・観光協会 ・狩野川漁業協同組合 ・道の駅運営者 ・国
事務局：伊豆の国市	

伊豆の国市狩野川利活用調整協議会（仮称）の進め方

